

## 杉並区教育ビジョン2022推進計画(案)の修正一覧

## 1 パブリックコメントに伴う修正 (1項目)

No.	修正箇所 (修正後の頁)	計画案	修正内容(修正は下線部)	修正理由
1	P27 第2章 11 健康教育・食育の推進 本文	～略～。 さらに、区内産の野菜を学校給食で使用する地元野菜デーと農家による食育出前授業の実施など、各学校が食育を推進するための支援を行うことにより、子どもたちが食への理解を深め、健康的な食生活を営むことができる力を培います。	～略～。 また、 <u>杉並区の学校給食は、成長期である児童・生徒の発育に必要な栄養素を確保し、バランスのとれた食事の提供を大切にしています。区内産の野菜を学校給食で使用する地元野菜デーや農家による食育出前授業の実施など、引き続き内容の充実と質の向上を図るとともに、子どもたちが食への理解を深め、健康的な食生活を営むことができる力を培います。</u>	区民等の意見提出手続による意見を踏まえ、より適切な記述に修正

## 2 パブリックコメントによらない修正等 (14項目)

No.	修正箇所 (修正後の頁)	計画案	修正内容(修正は下線部)	修正理由
1	「はじめに」追加		「はじめに」追加	新規追加
2	第2章 各基本方針の指標 現状値	現状値 (4年度)	現状値 <u>(5年度)</u>	現時点で分かる最新の数値とするため。
3	P17 基本方針1 計画の指標 現状値	現状値 (4年度) 「必要なときに、必要なことを、自ら学び身に付けることができる」と感じている中学校3年生の割合 55.0%  「自分と違う意見や考え、気持ちも大切にできている」と感じている中学校3年生の割合 90.2%  「自分の力をより良い社会づくりに生かすことができる」と感じている中学校3年生の割合 47.4%  「一人ひとりの違いに応じた学び(個別最適な学び)ができている」と感じている児童・生徒の割合(小中学校) 58.7%  「一人ひとりの違いに応じた学び(個別最適な学び)ができる環境が整っている」と感じている保護者の割合(特別支援教室※3・特別支援学級※4・特別支援学校) 76.8%	現状値 <u>(5年度)</u>  <u>61.6%</u>  <u>57.0%</u>  <u>47.1%</u>  <u>47.4%</u>  <u>66.8%</u>	5年度実績が確定したことによる修正
4	P19 第2章 2 外国人等に対する 教育的支援 本文	～略～。 また、帰国・外国人の母語が日本語でない子どもが、日本語の習得が不十分なために学校生活への適応が遅れることが無いように指導者が在籍校を訪問して日本語の指導(訪問・補充指導)を行います。 ～略～。	～略～。 また、 <u>日本語を母語としない帰国・外国人児童生徒が、日本語の習得が不十分なために学校生活への適応が遅れることが無いように指導者が在籍校を訪問して日本語の指導(訪問・補充指導)を行います。</u> ～略～。	より適切な記述に修正

No.	修正箇所 (修正後の頁)	計画案	修正内容(修正は下線部)	修正理由
5	P21 第2章 5 部活動の充実	～略～。 このことを受けて、区は、生徒にとって魅力ある持続可能なスポーツ及び文化芸術活動の確保に向けて、「学校部活動の地域クラブ活動への移行」を視野に入れた取組を推進します。 ～略～。	～略～。 このことを受けて、区は、生徒にとって魅力ある持続可能なスポーツ及び文化芸術活動の確保に向けて、「学校部活動の地域クラブ活動への移行」を視野に入れた取組を <u>実施</u> します。 ～略～。	学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画策定に合わせて文言統一による修正
6	P22 第2章 6 特別支援教育の充実 (表中)通常学級介助員ボランティアの配置 【実】	5(2023)年度末  通常学級介助員ボランティアの配置 延べ5,100日	5(2023)年度末  通常学級介助員ボランティアの配置 延べ <u>4,717日</u>	5(2023)年度末実績が確定したことによる修正
7	P23 第2章 7 区立学校における医療的ケア児支援の充実 本文	～略～。 また、医療的ケアの可否決定を行う「杉並区立学校医療的ケア安全委員会」には、障害者施策課所属の医療的ケアコーディネーターに出席を要請し、全区的な視点から医療的ケアの実施に関する助言等を求めています。 ～略～。	～略～。 また、医療的ケアの可否決定を行う「杉並区立学校医療的ケア安全委員会」には、障害者施策課所属の <u>医療的ケア児等コーディネーター</u> に出席を要請し、全区的な視点から医療的ケアの実施に関する助言等を求めています。 ～略～。	実行計画に合わせて、より適切な表現に修正
8	P24 第2章 8 教育相談体制の充実 本文	～略～。 また、いじめ重大事態の発生件数の増加傾向などを踏まえ、教育委員会の附属機関である「いじめ問題対策委員会」の活用方法や機動的な組織体制への見直しを図るとともに、教育 SAT と教育相談担当が連携して学校が取り組む、いじめ対策へのさらなる支援を行います。 ～略～。	～略～。 また、いじめ重大事態が複数発生したことやいじめ認知件数の増加傾向などを踏まえ、区長部局とともにいじめ対策を総合的かつ効果的に推進するため、(仮称)杉並区いじめ防止対策推進条例の制定に向けた取組を進めるほか、 <u>教育委員会の附属機関である「いじめ問題対策委員会」の活用方法や機動的な組織体制への見直しを図るとともに、教育 SAT と教育相談担当が連携して学校が取り組む、いじめ対策へ更なる支援を行います。</u> ～略～。	より適切な記述に修正
9	P25 第2章 9 不登校児童・生徒支援体制の整備 本文	～略～。 また、不登校児童生徒の多様な学びの場を確保するため、児童生徒1人1台タブレット端末等を活用したオンライン学習の積極的な実施や、さざんかステップアップ教室でのインターネットや動画、アプリ等を使った学習支援を行います。 ～略～。	～略～。 また、不登校児童生徒の多様な学びの場を確保するため、児童生徒1人1台タブレット端末等を活用したオンライン学習の積極的な実施や、 <u>仮想空間の試行等のICTを活用するとともに、さざんかステップアップ教室でのインターネットや動画、アプリ等を使った学習支援を行います。</u> ～略～。	実行計画に合わせて、より適切な表現に修正
10	P30 第2章 基本方針2 計画の指標 現状値	現状値 (4年度) 生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を地域や社会での活動に生かしている区民の割合 6.0%  地域の行事に参加している児童・生徒の割合 43.5%  文化財等を活用した事業への参加者数 31,586人	現状値 (5年度)  6.0%( <u>4年度</u> )  <u>45.8%</u>  <u>31,861人</u>	5年度実績が確定したことによる修正  一部4年度の数値が最新であるため、「4年度」と追記している。

No.	修正箇所 (修正後の頁)	計画案	修正内容(修正は下線部)	修正理由
11	P35 第2章 5 地域と学校の協働 活動の充実  就学前教育施設の地 域人材活用の推進 (表中)	7(2025)年度 就学前教育施設の地域人材の 推進 検討	7(2025)年度 就学前教育施設の地域人材の 推進  <u>実施</u>	より適切な記述に 修正
12	P37 第2章 7 家庭教育支援の充 実  家庭教育講座の実施 (表中)	5(2023)年度末 家庭教育講座の実施 8回	5(2023)年度末 家庭教育講座の実施 <u>9回</u>	5年度実績が確 定したことによる 修正
13	P39 基本方針3 計画の指標 現状値	現状値 (4年度)  小中学校の長寿命化改修校数 (6年度)1校  図書館の新規利用登録者数 16,356人	現状値 ( <u>5年度</u> )  小中学校の長寿命化改修校数 (6年度) <u>2校</u>  <u>17,744人</u>	より適切な記述に 修正  5年度実績が確 定したことによる 修正
14	P47 基本方針4 計画の指標 現状値	現状値 (4年度) 「自立的・協働的な学校づくりが進 んでいる」と感じている保護者及び 学校運営協議会委員の割合 78.7%  月当たりの時間外勤務が80時間 を超えた教員の割合(小学校) 7.6%  月当たりの時間外勤務が80時間 を超えた教員の割合(中学校) 17.0%  子どもと向き合う時間が確保できて いると感じる教員の割合  指標の説明 区立学校の教員を対象とした教育 調査 ただし、令和5(2023)年度から収 集しているため、現在未集計	現状値 ( <u>5年度</u> )  <u>73.0%</u>  <u>(5年度)4.9%</u> <u>(6年度)4.0%</u> <u>(8年度)3.0%</u>  <u>(5年度)12.5%</u> <u>(6年度)10.0%</u> <u>(8年度)7.5%</u>  <u>(5年度)51.8%</u> <u>(6年度)55.0%</u> <u>(8年度)60.0%</u> <u>(12年度)65.0%</u>  <u>区立学校の教員を対象とした教育調査</u>	5年度実績が確 定したことによる 修正 その他、実績に 基づく修正